

水系1液高耐候性塗装面保護クリヤー〔内外部用〕

# IP 水性UVクリヤーS i

〈低VOC F☆☆☆☆ トルエン・キシレン ゼロ配合〉

IP 水性UVクリヤーシリーズとして3製品を同時にラインアップ

- IP 水性UVクリヤーS i 〈塗装面保護クリヤー〉
- IP 水性金属用クリヤーS i 〈各種金属専用クリヤー〉
- IP 水性ノントッククリヤーS i 〈耐油脂性能クリヤー〉

IP 水性UVクリヤーS iは高耐候性シリコン樹脂と紫外線によるラジカルの発生を抑制するUV抑制効果により、クリヤー塗膜自体の劣化を軽減し、優れた耐候性を発揮します。また、UVカット機能を付加することにより、淡彩色の塗装面（新設）に施工した場合はチョーキング現象などの劣化の軽減、濃彩色の塗装面（新設）に施工した場合は退色などの劣化を大幅に軽減し、長期にわたり塗装時のキレイな状態を保持します。

防カビ・防藻性に加え、艶のバリエーションとして艶有り・3分艶・5分艶調整<sup>※</sup>の3タイプをご用意していますので、幅広いニーズに対応していただける水系1液高耐候性型塗装面保護クリヤーです。

※ 別途調剤料が必要となります。

## 特長

### 優れた耐候性・UVカット機能

高耐候性シリコン樹脂に加え、さらに特殊UV抑制効果（UVハイブリッド）により、紫外線と水分の影響によるクリヤー塗膜自体の劣化を最小限に抑えます。

また、高性能UVカット機能を付加することにより塗装面（新設）・木部の劣化、退色を大幅に軽減します。

### トップクラスの仕上がりに

水系クリヤーとしてハイレベルなレベリング性を付与していますので、ハケ目・ローラーマークなどを軽減し、均一な塗膜を形成します。  
また、3分艶・5分艶調整においては透明性が高く、より一層キレイな面に仕上がります。

### 防カビ・防藻性

優れた耐候性塗膜に、防カビ剤と防藻剤を添加させることで、塗膜表面の劣化による生物系（カビ・藻）の侵入を防ぎ、また防カビ剤と防藻剤によりシャットアウトします。

### 豊富な仕上がり

艶のバリエーションとして、艶有りと3分艶をご用意していますので、幅広いニーズに対応いただけます。  
さらに、5分艶調整<sup>※</sup>についても調整いたします。

※ 別途調剤料が必要となります。

## 荷姿

製品名	記	荷姿	施工面積 <sup>※2</sup>
IP 水性UVクリヤーS i	艶有り・3分艶 5分艶調整 <sup>※1</sup>	15 kg (石油缶)	125~187㎡ (1回塗りの場合)
		3.5 kg (ガロン缶)	29~43㎡ (1回塗りの場合)

※1 別途調剤料が必要となります。

※2 2回塗りの場合は2分の1の施工面積となります。

## 用途・性能 IP 水性UVクリヤーシリーズ

	用途	IP 水性UVクリヤーS i	IP 水性金属用クリヤーS i	IP 水性ノントッククリヤーS i
壁	塗装面(新設) (素地:各種サイディングボード・ モルタル・コンクリート・スレートなど)	●	—	○
	木部	●	—	○
	ボンデ鋼板 (JIS G 3313)	—	○	—
	トタン板 (JIS G 3302)	—	○	—
	鉄板 (JIS G 3141)	—	○	—
	ガルバリウム鋼板 (JIS G 3321)	—	○	—
	ステンレス鋼板 (JIS G 4305)	—	○	—
	アルミ板 (JIS H 4000)	—	○	—
	カラートタン (JIS G 3312)	—	○	—
	硬質塩ビ板 (JIS K 6745)	—	○	—
性能	艶のバリエーション	艶有り・3分艶・5分艶調整 <sup>※</sup>	艶有り	艶有り・5分艶調整 <sup>※</sup>
	内部用	●	○	○
	外部用	●	○	○
	防カビ・防藻効果	●	—	—
	耐油脂性	—	—	○

※ 別途調剤料が必要となります。

## 環境対策

エマルジョン塗料	規格・結果	
ホルムアルデヒド放散等級	F☆☆☆☆ (101126)	
低VOC	A1:水系塗料 W1	
芳香族系炭化水素	0.1%以下	適合
重金属(鉛、クロム類)	0.05%以下	適合
発癌性物質 生体毒物物質 変異原物質	0.1%以下	適合
感作性物質	0.1%以下	適合

## 耐候性試験

■ IP水性UVクリアーS



クリアー無塗装



1000h 2000h 3000h  
スーパーキセノン照射時間(h)

■ IP水性UVクリアーSは、スーパーキセノン照射3,000時間においても退色が少なく、優れた耐候性を発揮します。

## 仕様書

## ■ IP水性UVクリアーS 標準施工仕様

(20℃ RH 65%)

工程	使用材料	希釈率	塗布量	塗装方法	乾燥時間
素地調整	・ゴミ、ホコリ、油脂類などの付着物は適切な除去方法を用いて、除去物も含め十分に取除いてください。 (水洗浄の場合、24時間以上放置し乾燥確認) ・木部にシミ・ヤニの発生がある場合は十分に除去してください。また、吸い込みが激しい場合は、シーラー処理としてIP含浸シーラー <sup>※1</sup> を使用してください。				
クリアー (1回) <sup>※2</sup>	■ IP水性UVクリアーS	3~8% (清水)	0.08~0.12 (kg/㎡)	ハケ・ローラー スプレー	—

(注) ■ IP製品のクリアーとしてご使用になる場合は各種仕様に従って、塗装を行った後に施工してください。

※1 IP含浸シーラーは、原液使用にて1回塗り(0.1~0.15kg/㎡)。

※2 クリアー2回塗りの場合は1回目のクリアー(艶有り)塗装後、2時間以上放置乾燥してください。

## ■ 施工についての注意事項

- ◆ 施工前に本製品が用途・要望・現場の状況に的確であることを十分に確認の上、施工を行ってください。ご不明な点については、お問い合わせください。
- ◆ 素地調整は必ず念入りに行ってください。
- ◆ 必ず事前に試験塗りにて仕上がり感、密着など問題のないことを確認してください。また塗装中、塗装後、および塗料の取り扱い作業時は、換気を十分にしてください。
- ◆ 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、シーリング材など、またはそれらが接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆ シーリング材を施工する場合は、後打ちにて施工してください。
- ◆ 上記仕様書は標準的な施工仕様書です。希釈率、塗布量、および施工面積は塗装面(新設)・木部表面状態や塗装条件により異なります。また一度に上記記載塗布量を超えての厚塗りはしないでください。
- ◆ 降雨・強風が予想される日、気温5℃以下(表面温度が5℃以下)、湿度85%以上の場合は塗装をお避けください。また夏期の炎天下などは表面の温度が高いため、塗膜乾燥が早まり、塗膜本来の優れたレベリング性能などを阻害する恐れがありますので、希釈率を調整したり朝方など涼しい時間帯の施工をお奨めします。
- ◆ 各工程において塗装面(新設)・木部表面にホコリ、黄砂などの粉塵が飛来していないかどうか十分に確認し、飛来している場合は除去、水洗いを行ってください。
- ◆ 吸い込みが激しい素地の場合はシーラー工程を必ず行ってください。また、IP含浸シーラーはカチオン系ですので他の塗料と混合したり塗装器具を洗浄せず共用しないでください。(ゲル化します)
- ◆ ローラー塗装の場合は無泡ローラー、ハケ塗装の場合はナイロンハケ(水性ハケ)をお奨めいたします。スプレー塗装の場合はオーバーペースブレイや周囲への飛散に十分留意してください。特に3分艶・5分艶調整においては艶ムラを軽減するスプレー塗装をお奨めします。
- ◆ 塗装法により希釈率を調整してください。尚、規定量を超えますと塗膜性能の低下やタレなどの原因となります。
- ◆ 塗装において極端な膜厚の差には注意して、均一な膜厚になるよう施工してください。艶ムラの原因となります。
- ◆ 内容物が均一になるようによく攪拌してからご使用ください(泡が入らないように攪拌してください)。
- ◆ 塗装後、4~5時間は降雨、降雪、結露(夜露)に十分注意してください。
- ◆ 可動部、および床面など耐摩耗性が要求される箇所、または塗膜同士が接触する箇所への塗装はお避けください。
- ◆ クリアー自体には、素地からの溶出物(エポキシ樹脂・サビ汁・可塑剤など)を抑える効果はありません。
- ◆ サイディングなどの再生工法としてのクリアーとしては、ご使用しないでください。
- ◆ 外部へ本製品を使用する場合は、塗膜性能および仕上がりなどに影響する可能性がありますので、2回塗りをお奨めします。3分艶・5分艶調整仕上げの場合は1回目に艶有りクリアーを施工してください(放置乾燥2時間以上)。
- ◆ 保管は、直射日光や雨ざらしは避け、気温40℃以上、0℃以下の状態に長時間置かないでください。また、開封後はなるべく早くにご使用ください。
- ◆ 本チラシの記載内容についてご不明な点、または記載内容以外についてはお問い合わせください。

口製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシートをご参照ください。

塗料専門店直営の通販サイト

Internet Paint Shoppe 建物館  
paint-works  
peiintotatemono  
http://www.paint-works.net/tatemono/

IP インターナショナルペイント株式会社

本社・工場 〒760-0080 香川県高松市木太町3072番地  
TEL 087-833-3525/FAX 087-833-3527  
関東支店 〒330-0834 さいたま市大宮区天沼町2-952  
TEL 048-644-3528/FAX 048-643-5291  
関西支店 〒537-0024 大阪府東成区東小橋3-6-13  
TEL 06-6978-6855/FAX 06-6978-6856  
九州出張所 〒914-0174 福岡県早良区田隈1-14-1  
TEL 092-836-5090/FAX 092-836-5091